キャラクター名
海薙 木倒 （ミナギ ボクト）

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ エグザイル	ワークス	UGNエージェントD	カヴァー	探偵
オプショナル		年齢	37	性別	男
覚醒	無知	衝動	闘争	初期侵食率	35 %
出自	天涯孤独	経験	大勝利	邂逅	同業者

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	4	0	0			4
感覚	2	0	0			2
精神	1	0	0			1
社会	1	1	0			2

HP	29
行動値	5
(非装備時)	5
戦闘移動	10
全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			ＲＣ	1		交渉	1	
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転：			芸術：			知識：UGN	1		情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：裏社会	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：噂話	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
アームバンカー	白兵	4r+1	1	15		1点でもダメージを与えた場合硬直付与
tie down Clown（タイ・ダウン・クラウン）	白兵	11r+1	@8	15		硬直+重圧
	白兵	12r+1		15		
	白兵	13r+1		15		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
アームバンカー	
データブレイン	
思い出の一品	
サーチレーダー	
コネ：UGN幹部	
コネ：情報屋	
バイク	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
器物使い（ツールマスター）	P	N		
東條東	P 友情	N 嫌気		
ライター	P 懐旧	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6	残り財産P： 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
ハードワイヤード	5	-	常時	至近	自身	自動		
効果： ブラックドッグ専用アイテムを取得 基本侵食値+4								
加速装置	3	2	セットアップ	至近	自身	自動		
効果： ラウンド間【行動値】+[Lv×4]								
コンセントレイト：エグザイル	2	2	メジャー	-	-	-		
効果： C値-Lv								
貪欲なる拳	3	3	メジャー	武器	-	対決		
効果： 判定ダイス+[Lv+1]個								
エンタングル	2	2	メジャー	武器	-	対決		
効果： 1点でもダメージを与えた場合重圧付与 シーンLv回								
バリアクラッカー	1	4	メジャー	武器	-	対決	80%	
効果： ガード装甲無視 シナリオLv回								
ジャイアントグロウス	2	5	メジャー	武器	範囲（選択）	対決	100%	
効果： 対象を範囲（選択）に変更し攻撃力+2D シナリオLv回								
十徳指	1							
効果： 万能鍵								
タッピング＆オンエア	1							
効果： 映像とか画像送る								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

UGN虚鳥市支部のエージェント。
エージェント歴はチルドレンの頃からなのでかなりのベテランである。
普段は気さくだが、戦闘や緊迫した場面では的確な判断力と集中力で司令塔的な立ち位置をとり、口数も最小限になる。

チルドレンの頃から前線で戦い続けてきたため、沢山の仲間を失ってきた。支部の人たちはだんだんとその悲しみに慣れて忘れていくが、自身の仲間思いな性格も相まってそれを良しとせず、失踪事件や誘拐事件などを特に率先して受けている。
彼が表側は探偵として活動し、一般の人探し等も行っているのはそれが理由でもある。そのような一般探偵業務の裏、彼の探偵事務所がUGNと繋がっていると知って来た依頼や、オーヴァード事件と関連がありそうな依頼をUGNにまわしている。

彼はDロイスにより自身の肉体と別のアイテムを融合させることにより、そのアイテムの能力を極限まで使用することができる。
この能力を駆使することで情報収集や索敵等をスムーズに的確に行うことが可能となっている。
彼は自身のことを「あくまでも俺は情報が専門だ」と評しているが、戦闘能力も十分にある。戦闘の際は、両腕に格納してあるパイルバンカーを出現させ、さらにそれを自身の腕と融合させて戦う。打ち出す杭は自身の骨で作られており、打ち込んだ相手に自身の細胞を送り込むことでその自由を奪う。

チルドレン時代、またそれからの知り合いからは「ボクくん」や「ボーちゃん」などと呼ばれていたが、今そう呼ばれるのはあまり快く思っていない。